



重機講習会



全真言宗青年連盟 第四十三回結集 善通寺大会



オンライン講習会「人の集まるお寺を目指して～イベント運営の諸相～」

曲豆友

第177号

<https://bussei.gr.jp/>

Buzanbussei
Buyu

題字 浅井侃雄 狛下

重機講習会に参加して

長野仏教青年会
高頭寺
増澤 修誉

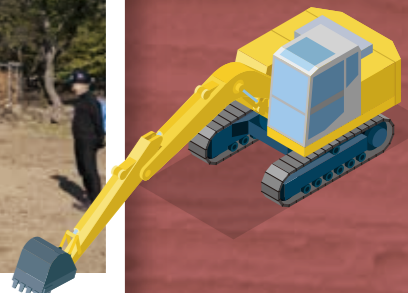
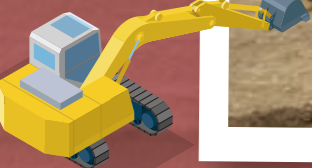
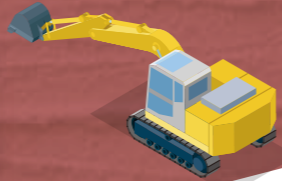
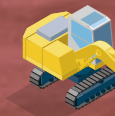


この時期の長野らしい肌寒い朝を迎えた令和五年十月三日（火）、小布施総合公園防災パーク「nuovo小布施」において、重機講習会が開催されました。

私の自坊にも除雪のためのホイールローダー、掘削や整地に使われるドラグショベルと呼ばれる重機がありますが、私はそれらに興味を示すこともなく動かしただけでもありませんでした。そのような中で、地元長野が、令和元年台風第十九号による大災害に見舞われてしまいました。自坊ではそこまで大きな被害には遭いませんでした。境内の一部が少し荒れていたのを整地をしようと重機に乗ってみました。思うように動かすことができなく歯がゆい思いをしました。そのこともあり今回の講習会を待ち望んでいました。

今回の講習会は、事前にeラーニングによる学科を受け終わってから実技に臨むというもので、当日はまず、二班に分かれてメーカーの違うドラグショベルに乗り、基本操作を講師の先生に教えていただきました。慣れることができました。あつという間に午前の講習が終わり、お昼休憩を挟んで午後の講習に移りました。まずは講師の一人、春原氏によるドラグショベルを使った妙技を披露していただきました。重機を自由自在に操る姿に受講生一同から歓声が上がりました。実際の災害現場で活躍されているからこそできる技の数々なのだろうと思いました。次に雪害による大規模な交通障害時に活躍した四輪バギーにも乗せてもらいました。エンジンの回転数の調節が難しくこれも慣れが必要だと感じました。その後はまたドラグショベルに乗り、基本操作のおさらいや実際に地面を掘り起こし、その土を埋めなおしたりしました。午前の講習から時間も経っていて、操作も忘れてしまったところもあり四苦八苦しました。最後に春原氏がドラグショベルに乗り、土砂で作った山のようになった坂道の昇り降りの実演を見て講習が終わりました。無事に修了証もいただくことができました。よかったです。

数十年に一度の災害が毎年のように起きてしまう日本で人力での作業には限界があり、ますます重機の需要は高まっているように思います。そのようななかで、今回の講習会では、講師の先生方が実際に災害復旧に携わってきた経験を踏まえて、重機のことだけでなく災害に対する備えであったり心構えなども教えてくださったので、私自身も災害対策について改めて考えるよい機会になりました。





※十八本山お砂踏みも開催されました。



全真言宗青年連盟 第四十二回結集 普通寺大会に参加して

東京六号仏教青年会
大行寺 山城 俊介



令和五年十一月七日、八日の二日間、わたり開催された、真言宗普通寺派青年会の皆様の担当による「全真言宗青年連盟第四十二回結集普通寺大会」に参加させて頂きました。

一日目は、総本山普通寺御影堂にて開会式ならびに総本山普通寺法主真言宗普通寺派管長 菅智潤殿下を導師に、弘法大師御誕生記念法要が行われました。

本年は私たち真言宗にとりまして、宗祖弘法大師御誕生一二五〇年という記念すべき年であり、お大師様御誕生の地である総本山普通寺様にてお大師様へ報恩謝徳の誠を捧げる法要に立ち会えたことは、真言末徒として誠に感慨深い経験となりました。

法要後は総面積約四五、〇〇〇平方メートルにも及ぶ広大な普通寺境内を見学させて頂き、聖霊殿では御影堂奥殿の再現のもと、幸運に恵まれ特別御開帳かつ初公開となる、普段は奥殿内に秘蔵される御尊像に手を合わせる事が出来ました。その他にも戒壇巡り、宝物館、産湯井、金堂などを拝観し、お大師様御誕生所として幾重にも重ねられてきた歴史の重みを随所に感じる、学び多き日となりました。

二日目は、レクザムホール（香川県県民ホール）にて評論家の宮崎哲弥氏、落語家の林家たい平師匠による講演を拝聴しました。

宮崎哲弥氏は「空海から井筒俊彦へ」現代の救いとしての仏道」をテーマに、言語や言葉について講演されました。私たち人間は言語を扱う動物です。私たちの思考は言語に基づき形成され、それを言葉という手段で伝えようとしてます。他者と意思疎通を図る際は必要不可欠であり、この言語、言葉、そして「悟り」の関係性については、多くの議論がなされ、私たち僧侶にとりまして非常に重要なものです。氏の講演を通し、これらをどう捉えるか、己に問い掛けながら再考する貴重な機会となりました。

林家たい平師匠は、さすが日本が誇る伝統的な話芸の一種である落語の世界に身を置かれていらっしゃるらしく、終始会場を和ませながら、伝える「手段」としての言葉について、ご自身の体験談も踏まえ、その重要性を語られました。内容はもちろん、身振り手振りをまじえた話し方、多彩な表情、声の抑揚など、言葉を使う手法ひとつひとつにも惹きつけられ、言葉を扱うことの奥深さに改めて気づかされました。

こうした学びの機会を共にしたのち、懇親会では結集参加の各会派青年会の皆様と、まさに「言葉」で語り、交流を深めることが出来ました。

最後に、全真言宗青年連盟第四十三回結集普通寺大会開催にあたり、結集担当会派真言宗普通寺派青年会の皆様、総本山普通寺様、関係各位の皆様には大変貴重な経験をさせて頂き、報恩の祈りを捧げられましたことに感謝申し上げます、報告とさせていただきます。



オンライン講習会 動画公開のお知らせ



人の集まるお寺を目指して ～イベント運営の諸相～

豊山仏青公式Webサイトでは会員向けコンテンツとして、これまで行われた様々な講習会の収録動画や、太鼓の学習用動画などを公開しております。

このたび、令和5年7月27日(木)にZoomを用いて開催されたオンライン講習会【人の集まるお寺を目指して～イベント運営の諸相～】のアーカイブ動画をYouTubeにて掲載いたしました。

宗教離れ・お寺離れの傾向が叫ばれる昨今、どのようにすれば檀信徒以外の方々に自坊を知っていただき、人の集まるお寺にすることができるのでしょうか。各地でご活躍されている講師の先生方の取り組みをご紹介します。いただきながら、そうした現状を打開する為のヒントを考える講習会となっております。是非ともご覧ください。

講師紹介



千葉県船橋市 正延寺 副住職

田中 宥弘 師

- ・総本山長谷寺 特派布教師
- ・真言宗豊山派総合研究院 布教研究所 常勤研究員
- ・真言宗豊山派光明編集委員会 委員



群馬県桐生市
日限地藏尊 観音院 副住職

月門 海 師

- ・Temple Hotel 観音院 広報
- ・社会福祉法人ビハール 理事長
- ・らららこども園 園長



高知県高知市
四国第三十番札所 善楽寺 住職

島田 希保 師

- ・真言宗豊山派仏教青年会 副会長
- ・真言宗豊山派総合研究会 布教研究所 研究員
- ・薫物屋香楽 認定香司



- 無料で閲覧可能となっております。
- 仏青Webサイトの会員専用ページに掲載された動画を再生、または動画URLに直接アクセスした場合のみ視聴できます。会員専用ページへのアクセス方法につきましては、本誌の裏表紙をご参照ください。公開設定を「限定公開」としているため、YouTubeの検索機能では表示されません。ご了承ください。
- 豊山仏青では、「こんな講習を聴いてみたい」「○○の参考になる資料が欲しい」など、会員の皆さまからのご要望を随時お待ちしております。Webサイトのお問い合わせページより、ご意見をお寄せください。

今後の予定

令和五年度 写仏講座

第八回 令和六年二月二十六日(金)

第九回 令和六年二月十六日(金)

第十回 令和六年三月十五日(金)

いずれも十三時開始 十五時終了予定

会場 東京都文京区大塚五十四十八

真言宗豊山派宗務所にて

(有楽町線護国寺駅下車徒歩三分)

受講料 千円(二回目以降)

初回のみテキスト・筆代を含め二千円

※事前のお申込みのご連絡は不要です。

※寺族・在家の方を問わず参加できます。

ふるってご出席ください。

※天候の影響などにより、延期となる場合がございます。
ます。なにとぞご了承ください。

豊山仏青WEBサイト 写仏ページ
<https://www.bussei.gr.jp/training>



編集後記

前回の『豊友』一七六号を発売してから早半年、その間様々な活動が行われました。本誌にてご紹介した重機講習会やオンライン勉強会。全真言宗青年連盟結集、善通寺大会への参加。そして、豊山仏青単独結集、総本山長谷寺大会の開催。本誌には紹介しきれない程の行事があり、コロナ禍で身動きがとれなかった以前がまるで嘘のように、平年通りの活動内容へ戻りつつあるように思えます。

中でも特に大きな行事だった豊山仏青単独結集、総本山長谷寺大会(十一月十四日開催)の模様につきましては、来年春に発行する予定の『豊友』一七八号に掲載させて頂きます。取り急ぎ、結集が無魔成満に終わりましたことを、ここにご報告させていただきます。

広報次長 木村修廣

豊山仏青Webサイト

<https://www.bussei.gr.jp>

写仏講座・千響チャリティー演奏は

豊山仏青

検索



豊山仏青Facebook

www.facebook.com/buzanbussei/



豊友お問い合わせ先

webussei@gmail.com

豊友 第177号

令和5年12月21日発行 発行人 木村修明

発行所 〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目40番8号
真言宗豊山派宗務総合庁舎内 真言宗豊山派仏教青年会

デザイン・印刷 株式会社ディー・エイ・ティ・コーポレーション